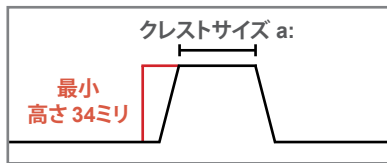




SingleFix-HU

自立型台形金属板屋根とサンドイッチ部分用
固定システム

- 直接取り付け
- 素早い固定
- 有効性が実証されたシステム構造解析



モジュールサイズによって、コンポーネント間の間隔は変わります！
SingleFix-HU クランプは、20mmから60mmのクレストサイズに適しています！

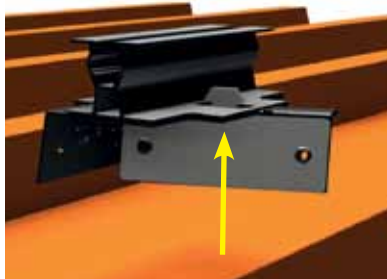
自立型台形金属板屋根には、基礎構造に固定部品システムを取り付けできないものもありますが、大抵の製品には、簡単で直接的な取り付けを素早く行うのに必要な耐負荷能力は十分備わっています。多くの場合、サンドイッチ部分からなる台形型ルーフによって、上部デッキは十分な安定性が得られますが、圧縮が蓄積される可能性がありますので、固定部品をルーフに通すことができません。Fix2000 は、他と比較できないほど簡単かつ素早い取り付けを可能にするオプションです。

Schletter SingleFix-HU はシステム構造解析で参照可能です。Schletter SingleFix-HU は、承認されたネジタイプと、検証済みの締め付け力を利用しています。固定部品と各部品で認められている荷重の分布は、各表で明確に提示していますので、そちらをご参照いただけます。

ただし、構造的に棟から庇方向での追加補正はできませんので、取り付け時には、クランプ間隔を正確に守るようご注意ください。これには、建築用水糸を用いれば、手間がかかりません。ガラス積層板の場合は、モジュールが配送される前ではなく、モジュールが配送された時点で組み立てを開始することをお勧めします。そうすれば、モジュールが許容誤差を超える可能性がある場合でも、適切かつ迅速に対応できます。



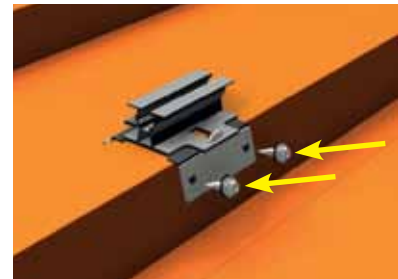
取り付け手順:



① ゴムの付いた側板を穴に引っかけます。こうするには、長穴の中で側板を90°回転させてください。



② 再度、側板を90°回転させて戻し、所定の場所にパチンと留めてください。



③ SingleFix-HUクランプを、台形金属板のうねクレストの上に置いてください。シールワッシャーとセルフドリルネジ 6 x 25で、側板をしっかりと固定します。この時、下の穴にネジを通してください。



取り付けに関する注意

SingleFix-HU 部品は、全システムに対して信頼性の高い構造解析を行うことができるよう、仕様で定められた力に耐えられなければなりません。したがって、つぎの内容にご注意ください：

- ネジを締める際は、クランプを金属板にしっかりと固定してください（負荷圧の伝達）
- ネジを締めすぎないように十分にご注意ください（深さ止めを使用してください）
- 取り付け後、ネジを取り外して、同じ穴に再度挿し込むことは避けてください。
- ネジに対する技術的な規格を守るため、金属板の厚みは、鋼板で0.5mm 以上必要です。アルミ製の台形金属板で0.5mm 以上必要です。
- ルーフは、太陽光発電システムにより追加される荷重に耐えるものでなければなりません。
- 台形金属板への固定は、風の吸引力を吸収できなければなりません。
- サンドイッチ部分では、層間で十分な相互保持力が保証されている必要があります。
- レールを引く際には、プロファイル接続部品がうねクレストに乗っていないことを確認してください。

シールに関する注意

付属ネジには、取り付けドリル穴を通してクランプに水が浸入するのを防ぐシールワッシャーも備わっています。通常、これで雨水の浸入を防ぐことができます。

- 苛酷な状況下で（溶けかけた雪など）、ドリル穴に、下から水が進入する場合がありますので、ご注意ください。
- ドリル穴に水が存在していても、亜鉛メッキ板（端部を陽極酸化保護されたもの）であれば腐食の問題は発生しません。
- サンドイッチ部分のドリル穴から進入してきた水は、泡層シールを透過することはありませんので、問題が発生することはありません。

構造解析に関する注意

- 台形型ルーフでの、SingleFix-HU クランプの実証済み締め付け力は、一般的な Schletter 構造解析で参照可能です（ルーフ端部に関する詳細情報にご留意ください!）。
- 最大積雪荷重を計算する際には、太陽光発電システムの単位面積重量（質量）も考慮に入れる必要があります（個々の検証が必要になる場合があります）。台形型ルーフの荷重分布を確実に均一にするためには、クロスビームが、台形型メタルリブと交差する場所を、耐圧ゴムで下張りする必要があります（EPDM ゴムをアクセサリとしてご購入いただけます）。
- 風の吸引力を計算する際には、選択したクランプの配置における力が台形金属板により吸収され、ルーフ構造に分散されることを確かめる必要があります（個々の検証が必要な場合があります）。クランプを上下に置くような場合には、分布の調整を行うことが有効です！



テクニカルデータ

材料	固定部品：アルミ、ネジ：高品質鋼
形態	既存のあらゆる台形金属板設計とサンドイッチ部分に適合
構造解析	現行の国の規格に準じた構造解析（ドイツ国内の場合、JIS C 8955:2011） 構造解析に基づいて、必要とされる固定箇所数を示す付属書類 各々の場合に関する構造解析情報をお確かめください。基礎構造に対する屋根の接着力の検証は、通常の構造解析書には含まれておりません！
計算とご注文	計算およびご注文は、当社のAutokalkulatorソフトウェアなどをお使いいただくと便利です—必要なりリストをご確認ください！ 大口のご注文を頂いた場合には、無料サンプルモデルを提供致します。

当社の自動計算機をご利用いただければ、システム価格を素早く簡単にご確認いただけます！

*対応の製品シートおよび当社のGeneral Terms and Conditions of Sale and Supply（一般販売供給条件）（www.schletter.de/AGB）にしたがって、変更および／または技術的修正を行う場合があります。